

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 10 日

Table with columns for 事務事業名 (市民文化祭事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (0202000624), 所属課 (090601), 生涯学習課, 政策体系 (総合計画の施策名 O202 生涯学習・芸術文化活動の推進), 予算科目 (一般会計 文化振興事業), 事業期間 (単年度繰返し (平成18年度~)), 法令根拠

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (概要, 桜川市文化協会を中心とした市民文化祭実行委員会を立ち上げる), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順 (実行委員会会議を開催し、事業計画を協議する)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (開催日数, 事業部門数), ②対象 (参加者数, 参加学校数, 来場者数), ③意図 (文化祭に親しむ割合), 28年度(実績), 29年度(実績), 30年度(計画), 31年度(目標), 32年度(目標)

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with columns for 投入量 (事業費) の推移: 28年度(実績), 29年度(実績), 30年度(計画), 期間限定総投入量. Includes rows for 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 人件費 (述へ業務時間, 人件費計(B)), トータルコスト(A)+(B).

Table with columns for 事業費の内訳: 29年度事業費実績 (千円), 30年度事業費予算 (千円). Includes rows for 19 負担金補助及び交付金 (810), 合計 (810).

Table with 4 columns: (4) 当該年度の実施内容, 30年度の事業内容, 31年度の事業内容, 32年度の事業内容. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Lists: 主要事業, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	市民文化祭事業	事務事業No.	20202000624	所属課	生涯学習課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 市民の芸術活動の成果発表、展示発表を行い多くの市民が鑑賞する機会を設ける。心豊かで潤いのある桜川市の文化振興に寄与することを目的として開催。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 平成28年度より文化協会を専門部制に再編したことにより、市民文化祭の開催についても、専門部を中心として運営を行いスムーズの開催することができた。各催事とも参加者の貴重な発表の機会、交流の場として市の文化振興に寄与することができた。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 自分たちの文化祭であるという認識が薄い団体(催事)が見受けられる。意義、目的を再認識させ、自主運営意識の向上を図る必要がある。展示作品数を増やすために人材育成や子どもたち及び若年層を取り入れる企画が必要。市民文化祭を契機として文化活動、生涯学習に興味関心を持ち取組みを始める人を増やす。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生涯学習、芸術文化活動の推進に整合
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の文化芸術活動の発表の場を提供している。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 文化協会の専門部を中心に開催することで、専門性の高い催事に発展できる可能性がある。また、若年層の出展、出場が少ないことから、何らかの企画を試み、広く文化振興を図る必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の文化活動の成果を発表する機会や場所がなくなることになり、生涯学習、文化活動の促進が図れない。市の文化振興が低下する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 市民文化祭自体がまだ未熟なところもあるため、連携を考える段階ではない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 各催事を開催するにあたり、最低限の事業費であるため削減は難しい。専門部での活動が少しずつ自立してくれば、人件費の削減は可能であるが、まだ時間を要すると思われる。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民文化祭ということで、市広報誌やHP、チラシ等で広く一般参加者を募り、実施している。催事によっては、文化協会加盟団体だけではなく、一般市民や市内高校生の団体などが参加できる文化祭として認識されてきている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成28年度より文化協会専門部を中心に運営を行い、市民の文化祭としての意識が広がってきている。また、作品展については、初めて会場を1か所で開催。ただし、高齢化により作品出展数が減少しているのは事実である。音楽祭、芸能祭については、概ね自主運営ができる体制となっており、近い将来、自立運営が可能であると思われる。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---